

企業名： 三洋化成工業

レポート名： 統合報告書2022

1. この会社が目指している将来の姿が理解できるか

十分に理解できた。将来像については2030年におけるありたい姿を定めた経営方針である「WakuWaku Explosion 2030」というものを掲げており、その内容が説明されている。会社全体のありたい姿としては、全従業員が誇りを持ち、働きがいを感じるグローバルでユニークな高収益企業に成長することとされており、それに合わせて各事業部の具体的な施策が記載されていた。また、スローガンとして「ワクワク」という言葉を繰り返し使っており、ここからも会社としての理想像のようなものが確認できる。以上のことから、統合報告書として会社の将来像を理解するに十分であると考ええる。

2. この会社の現在の競争優位性が理解できるか

競争優位性はここからだけでは理解しづらい。その理由は、競合がどこなのかなど市場全体の動きがあまり記載されていないからだと考える。各事業部がなにをしているのかというのは十分に理解できる内容になっている。基盤事業の見直し、基盤事業からの展開、新たな成長軌道に分かれて、それぞれの活動内容や、今後の活動予定などは分かりやすくまとめられていた。また、業績も載っており、利益などの具体的数値も見えて取れた。しかし、それが競争優位に結びついているかという部分は少し欠けているように見える。業績などが書かれていても、比較対象がないとあまり意味をなさない。市場や競合の動きをもっと詳しく記載すべきであったと考える。

3. その競争優位性に持続性があるかどうか理解できるか

上述の通り、あまり競争優位性というのは分からなかった。そのため、その持続性についてもあまり理解できない。しかし、1で確認した通り将来性や、今後の展望などは理解できた。具体的には、国内市場はこれから少子高齢化や人口減少が原因で規模が小さくなると予期して、海外での売り上げを伸ばすことが述べられていた。また、自身の高度な技術を活かして高付加価値の製品の展開をすることなども述べられていた。よって、これらのことが実現され、見当違いでないのであれば競争優位性の持続性はあるといえる。ただ、やはり市場全体の傾向などを詳しく記載されていると分かりやすくなる。

4. この会社で自身の人的資本の価値向上を達成できると思うか

社内全員が自身の価値向上を達成できる機会があると思う。まず三洋化成は多様な人を人材として受け入れる方針を取っている。女性はもちろん、障がい者なども働きやすい環境を作り、その取り組みについていくつかの賞も受け取っていると分かる。さらに、社内副業制度というものも導入し始め、個人個人が業務と並行して自分が行いたいテーマに取り組めるようになっている。社員はこれにより、働きがいや、モチベーションを感じることができ、ワクワクを自分の中に持つことができると説明している。これは実際にとっても効果があると思われる。また、社長自らが部長全員と対話をするなどの行動もしている。そのため、多様性や働きがいなどは宣言や理念で終わることなく、実際に進められていると考えられる。よって、三洋化成ではやる気があれば人的資本の向上を達成できると思う。

5. 報告書のよかった点はどこか、どのような改善余地があるか

しっかりと財務ハイライトや、経営理念などは載っており、必要最低限のことは載っていると思った。社外取締役のインタビューも興味深く、事業部ごとに内容や、展望などがまとめられている箇所はとても分かりやすかった。しかし、一部後半の方では小さな見出しが乱立されて見づらく感じた。ストーリーになるように前後につながりがあると、より読みやすいものになると考えた。また、2でも述べたが同業他社や、市場についての記述は増やすべきである。